

年月日	平成 28 年 5 月 16 日
作成部局	関西広域連合広域防災局 兵庫県防災企画局・災害対策局

平成 28 年熊本地震への対応

1 平成 28 年熊本地震における支援チーム(第 5 陣)の派遣

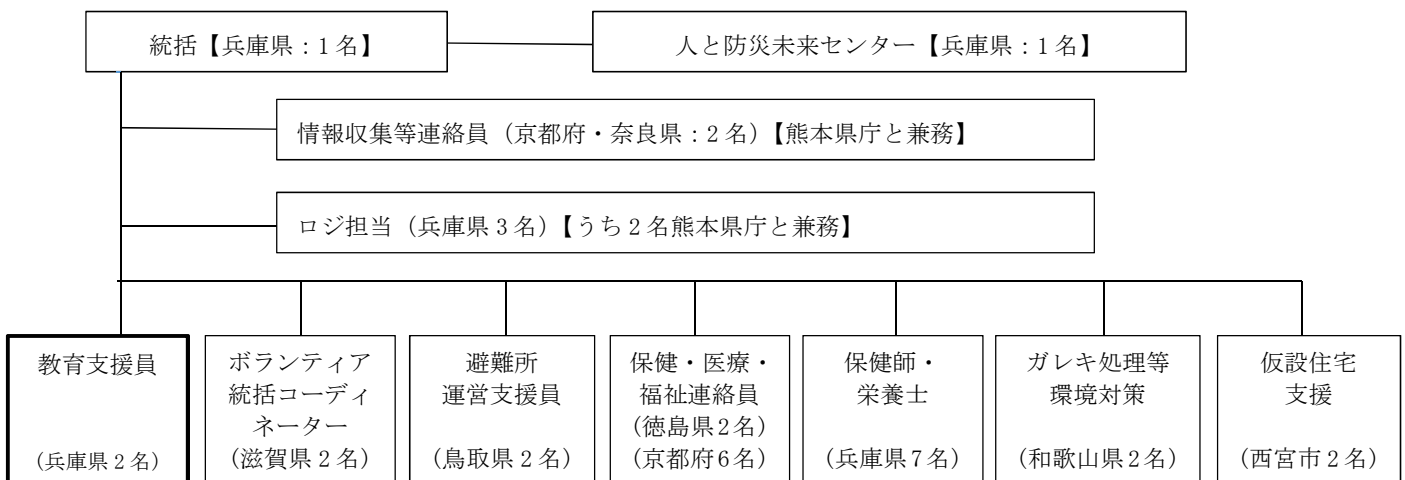
益城町に対し、支援チーム第 5 陣を派遣する。

(1) 派遣期間

5 月 18 日(水)～5 月 25 日(水)

(2) 派遣の体制

- 学校再開後の応急教育や心のケア、避難所と学校教育の円滑な運営について助言・支援を行うため、教育支援員チーム(EARTH10 名)の派遣を再開する。



(参考：過去の派遣状況)

区分	派遣日	内容
第 1 陣	4/20(水)～4/27(水)	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災における、南三陸町支援チームと同等のチームを派遣。 現場の状況・支援方針等を確認のため、経験者を中心に兵庫県職員を派遣(21名)。
第 2 陣	4/27(水)～5/ 4(水)	<ul style="list-style-type: none"> 支援方針を確認し、関西広域連合の支援チームとして分野別に各構成団体で担当を定め派遣。 新たに「仮設住宅支援班」を設置。
第 3 陣	5/ 4(水)～5/11(水)	<ul style="list-style-type: none"> 長引く避難所生活に対する食事面での健康対策を強化するため、「保健師」チームを「保健師・栄養士」チームに改編。 教育支援員については、避難所となっていた学校全校が再開見込みとなったことから派遣を休止（兵庫県教育委員会に支援窓口を置き必要が生じた場合は再開）。
第 4 陣	5/11(水)～5/18(水)	<ul style="list-style-type: none"> 避難中の要介護者、在宅高齢者等への対応を進めるため、「保健・医療・福祉専門員」として京都府から保健師等 6 名を追加派遣。

2 家屋被害認定士等の派遣

(1) 家屋被害認定士

5 月中に家屋被害認定業務を終了させ、罹災証明業務を早期に実施できるよう職員を派遣。

① 益城町

対象棟数：約 16,500 棟

派遣者数：28 名

うち兵庫県 8 名(尼崎 2 名、芦屋 2 名、明石 2 名、南あわじ 2 名)

派遣期間：5 月 14 日(土)～5 月 20 日(金) ※ 1 週間単位で継続して派遣

② 大津町

対象棟数：約 2,000 棟

派遣者数：12 名(大阪府 10 名、加古川市 2 名)

派遣期間：5 月 14 日(土)～5 月 20 日(金) ※ 1 週間単位で継続して派遣

(2) 避難所運営支援等職員の派遣

今なお避難所生活を余儀なくされている避難者の避難所自主運営に向けた支援など被災者支援を実施するため、職員を派遣。

① 益城町

避難者数：約 3,300 人

派遣者数：43 名

うち兵庫県 6 名(明石 2 名、宍粟 2 名、稲美 1 名、播磨 1 名)

派遣期間：5 月 11 日(水)～5 月 18 日(水) ※ 1 週間単位で継続して派遣

② 大津町

避難者数：約 100 人

派遣者数：10 名(大阪府 10 名)

派遣期間：5 月 15 日(日)～5 月 21 日(土) ※ 1 週間単位で継続して派遣

③ 菊陽町

避難者数：約 200 人

派遣者数：4 名(奈良県 4 名)

派遣期間：5 月 12 日(木)～5 月 18 日(水) ※ 1 週間単位で継続して派遣

3 被災者の受け入れ

県営住宅(一時避難所)の提供状況(5 月 13 日現在)

・問い合わせ件数：43 件(うち申請書送付 11 件)

・受け入れ件数：2 件

※ 参考 県下市町受入件数(5 月 13 日現在) 神戸市営：6 件 西宮市営：1 件

○ 地震発生1か月の支援実績 (4月14日～5月13日)

1 対応体制

(1) 災害対策支援本部の設置

連合長を本部長とする災害対策支援本部を設置し、関西広域連合の全力をあげて被災地支援を実施。

平成28年熊本地震災害対策支援本部 (4月20日(水)設置)

本部長：井戸連合長 (兵庫県知事)
副本部長：仁坂副連合長 (和歌山県知事)、荒井広域防災副担当委員 (奈良県知事)、久元広域防災副担当委員 (神戸市長)
本部長：三日月滋賀県知事、山田京都府知事、松井大阪府知事、飯泉徳島県知事、平井鳥取県知事、門川京都市長、吉村大阪市長、竹山堺市長

現地支援本部 (熊本県庁、4月16日(土)設置)

益城町現地連絡所 (保健福祉センター、4月20日(水)設置)
担当：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、鳥取県
大津町現地連絡所 (大津町災害対策本部内 (電算室3階)、4月20日(水)設置)
担当：大阪府
菊陽町現地連絡所 (光の森町民センター、4月21日(木)設置)
担当：奈良県

※京都市、大阪市、堺市、神戸市は政令指定都市会の調整で熊本市を支援

2 関西広域連合・兵庫県の主な対応

4月14日(木) 21:26頃 前震発生
21:40 災害支援準備室設置 (室長：広域防災参事)
23:00 先遣隊3名出発 (隊長：広域企画室長)
4月16日(土) 1:25頃 本震発生
2:00 災害支援室及び応援・受援調整室設置 (室長：防災監)
6:00 現地支援本部設置
14:00 「熊本地震災害支援会議」開催
(構成団体防災監、危機管理監等出席)
4月20日(水) 「平成28年熊本地震災害対策支援本部設置」
益城町現地連絡所設置
大津町現地連絡所設置
支援チーム(第1陣)を益城町に派遣
避難所運営要員の益城町への派遣を開始
4月21日(木) 菊陽町現地連絡所設置
4月22日(金) 県外災害ひょうご緊急支援隊を南阿蘇村に派遣
4月27日(水) 家屋被害認定要員の益城町への派遣を開始

3 関西広域連合現地支援本部を通じた支援

(1) 物資支援

アルファ化米	毛 布	簡易トイレ	ブルーシート
241,350 食	27,000 枚	1,456 台	1,600 枚

(2) 職員派遣

関西広域連合構成団体の派遣職員数：延べ460人、2,327人・日
うち兵庫県：延べ107人、665人・日

[職員派遣状況]

(5月13日現在)

府県名	現地支援本部 (熊本県庁)	益城町連絡所			大津町連絡所			菊陽町連絡所		計
		チーム派遣	避難所運営要員等	被害認定要員	連絡員等	避難所運営要員等	被害認定要員	連絡員等	避難所運営要員等	
滋賀県		2人	6人	2人						10人
京都府	チーム連絡員兼務	7人	9人	3人						19人
大阪府					1人	9人	4人			14人
兵庫県	チーム統括及びポンプ担当が兼務	14人	6人	8人						28人
奈良県	チーム連絡員兼務	1人	2人	4人				1人	3人	11人
和歌山県		2人	6人	4人						12人
徳島県		2人	8人	2人						12人
鳥取県		2人	6人	2人						10人
合 計		30人	43人	25人	1人	9人	4人	1人	3人	116人

※市町職員を含む。

4 兵庫県の支援

(1) 物資支援

現地からの要請により、支援物資を提供した（支援終了）。

アルファ化米	毛 布	簡易トイレ	ブルーシート
24,000 食	27,000 枚	512 台	1,600 枚

(2) 人的支援

(4月14日～5月13日)

区 分	派遣期間	人 数 等
県外災害ひょうご緊急支援隊の派遣	4/22～25	延べ2人
DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣	4/16～	延べ26隊124人
救護班の派遣	4/20～	延べ7隊36人
ドクターヘリの派遣	4/16～17	2機11人
DPAT（災害派遣精神医療チーム）の派遣	4/16～	延べ6隊18人
ボランティア先遣隊派遣	4/15～	延べ5人
ボランティアバスの派遣	4/21～	参加者80人
県立大学学生等ボランティア派遣	4/18～5/1	延べ11人
家屋被害認定士の派遣	4/16～	延べ2人
応急危険度判定士の派遣	4/19～25	延べ12人
EARTH（震災・学校支援チーム）の派遣	4/16～28	延べ39人

※県職員のみ。ただし、DMAT、救護班、DPATは県の手配分。

(3) その他の支援

① 義援金の募集

「平成 28 年熊本地震災害兵庫県義援金募集委員会」を設立し、被災地支援のため、ふるさとひょうご寄附金として義援金を募集し、同募集委員会を通じて被災地支援に役立てる。

・募集期間：4 月 25 日～6 月 30 日

② 見舞金の贈呈

熊本県に対し、見舞金 100 万円を贈呈。

③ 使用料・手数料の減免

被災者（本県受け入れ避難者を含む。）の生活支援に関するすべての使用料及び手数料について減免を実施。

[減免を行う使用料・手数料の区分]

- ・ 県立大学、高校等の授業料、入学料等
- ・ 各種免許証等の再交付手数料
- ・ 営業再開等にかかる手数料
- ・ 建物再建等にかかる手数料

[減免期間（原則）]

- ・ 建物の再建にかかるもの：3 年間（H28. 4. 14～H31. 3. 31）
- ・ その他のもの：1 年間（H28. 4. 14～H29. 3. 31）

④ 県税の軽減措置

被災者（本県受け入れ避難者を含む。）に係る県税の軽減措置等を実施。

- ・ 申告・納付期限の延長
- ・ 徴収の猶予
- ・ 納入義務の免除（軽油引取税）
- ・ 個人事業税、不動産取得税、自動車取得税、自動車税の減免
- ・ 納税証明書交付手数料の減免

⑤ 「熊本地震復興サポート事業」の実施

熊本地震被災地における N P O、ボランティア団体等による復興支援の取り組みをサポートするため、活動費等を助成。

支援対象団体	阪神・淡路大震災その他の自然災害での支援活動の経験がある団体、または、同等の支援活動を行うことができると認められる団体
事業実施地域	熊本地震の被災地（熊本県内全域）
支援限度額・回数	1 回につき 400 千円（同一年度内は 2 回まで）
対象経費・補助率	旅費 10/10 以内、活動費 1/2 以内

(参考1)

熊本地震支援派遣チーム名簿 [第5陣]

1 派遣期間

平成28年5月18日(水)～5月25日(水) [7泊8日]

[派遣先：益城町現地連絡所]

2 派遣者

現区分	氏名	所属・職名	備考
統括(1名)	井土垣 功	県立光風病院 管理局長	東日本派遣経験者
人と防災未来センター(1名)	荒木 裕子	人と防災未来センター 主任研究員	
情報収集等連絡員 (2名)	京都府(1名) 奈良県(1名)		熊本県庁兼務
ロジ担当(3名)	矢野 敏隆	復興支援課 復興調整班長	東日本派遣経験者
	湯田 真治	農地整備課 管理指導班長	東日本派遣経験者
	山谷 公男	国際経済課 主査	東日本派遣経験者
教育支援員(2名)	浅堀 裕	県立芦屋高等学校 主幹教諭	東日本派遣経験者 5/16 派遣
	鈴木 健祐	太子町立石海小学校 教諭	東日本派遣経験者 5/16 派遣
ボランティア総括コーディネーター (2名)	滋賀県(2名)		
避難所運営支援員 (2名)	鳥取県(2名)		
保健・医療福祉連絡員 (8名)	徳島県(2名) 京都府(6名)		
保健師(4名)	山下 久美	加古川健康福祉事務所 地域保健専門員	東日本派遣経験者 5/16 派遣
	森本 幸子	豊岡健康福祉事務所 健康管理専門員	
	沖田久美子	丹波健康福祉事務所 課長補佐(健康管理担当)	
	村上 直美	疾病対策 主査	
栄養士(1名)	日野原美里	朝来健康福祉事務所 主査	
支援員(2名)	米田 裕介	社会福祉課 職員	5/16 派遣
	小林 正敬	社会福祉課 職員	
ゴミ処理等環境対策 (2名)	和歌山県(2名)		
仮設住宅支援 (2名)	西宮市(2名)		

計 32 名 (うち本県 16 名、関西広域連合構成府県 16 名)

1 国・熊本県の主な動き

区 分	内 容
災害廃棄物対策	全壊・半壊家屋の公費解体に備え、災害廃棄物の量の推計、処理実行計画の策定作業を実施中。5月18日、「熊本県災害廃棄物処理対策会議」(環境省、県、関係市町村)を開催予定。
復興対策	「くまもと復旧・復興有識者会議」が緊急提言を発表(12日)6/5に最終提言を発表予定。 〔主な提言内容〕 ○「創造的復興」の重要性 ○ゆとりや優しさのある仮設住宅環境の提供 ○住民の意見を踏まえた街づくり ○長期・広域的な発展を目指す街づくりのグランドデザイン ○住宅の耐震診断・補強への公的支援の強化 ○熊本と他県を結ぶ幹線道路の整備促進 ○国民参加型の熊本城復元運動 ○東日本大震災と同水準の財政措置 等

2 益城町の主な動き

区 分	内 容
避難所運営	避難者数3,343人(5/14現在)。清掃、駐車場整理等を業者委託。民間ホテルを利用した福祉避難所の新設を検討中。国による物資のプッシュ支援、自衛隊による給水が終了。
家屋被害認定	5月中の完了を目指して実施中。
罹災証明発行	5月1日より申請受付開始。申請数が1万件を突破、ほぼ全世帯が申請すると見込まれる。5月下旬の発行を目指して準備中。
仮設住宅建設	当面1,000戸の仮設住宅建設を目指し候補地を検討中。160戸分を5月6日より建設中。みなし仮設を含む住宅相談を実施中。
ガレキ処理	家屋解体に備え第2仮置き場を増設中。
役場機能回復	16日(月)から住民基本台帳関係の申請受付再開

〔益城町の当面の課題〕

- ・ 役場機能の早期回復
- ・ 住家被害認定の早期終了(5月中目処)、罹災証明の発行
- ・ 被災者支援の本格化(支援金・義援金の支給、住まいの提供、倒壊家屋撤去等)
- ・ 避難者対策(避難長期化対策(感染症予防、ストレス対策等)、車避難者の解消等)
- ・ 道路の啓開
- ・ 上下水道の復旧

1 地震の概要 (気象庁調べ。最大震度6強以上・マグニチュード6.5以上の地震)

- 発生日時 平成28年4月14日(木) 21時26分頃
- ・震源地 熊本県熊本地方(北緯32.7度、東経130.8度)
 - ・震源の深さ 約11km(暫定値)
 - ・規模 マグニチュード6.5(推定値)
 - ・各地の震度(震度6強以上)
震度7 熊本県:益城町
- 発生日時 平成28年4月16日(土) 1時25分頃
- ・震源地 熊本県熊本地方(北緯32.5度、東経130.1度)
 - ・震源の深さ 約12km(暫定値)
 - ・規模 マグニチュード7.3(暫定値)
 - ・各地の震度(震度6強以上)
震度7 熊本県:益城町、西原村
震度6強 熊本県:南阿蘇村、熊本市中央区、熊本市東区、熊本市西区、菊池市、宇城市、合志市、大津町、宇土市、嘉島町

2 被害の状況

区分	人的被害(人)				建物被害(棟)		避難者数(人)	時点
	死者	重傷	軽傷	行方不明	全壊	半壊		
熊本県	68	1,664		1	84,817 (一部損壊を含む住家被害)(調査中)		10,434	5/15 13:30
福岡県		1	17			1		
佐賀県		4	9					
大分県		4	22			3	3	
宮崎県		3	5			2		

※熊本県:第62報

※その他:総務省消防庁調べ(5月13日 7:00)

3 支援中の市町の被害状況

区分	人的被害(人)				建物被害(棟)		避難者数(人)	時点
	死者	重傷	軽傷	行方不明	全壊	半壊		
益城町	21	6	3		1,026	4,374 (一部損壊を含む住家被害:調査中)	3,299	5/15 13:30
大津町		3	9		92	686	225	〃
菊陽町		3	15		14	247	137	〃
熊本市	14	254	943		39,864 (調査中)		3,305	〃

※熊本県(第62報)より